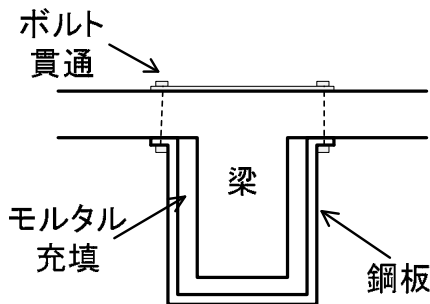


最終更新日 H24.10.24

改修技術 No. 13102202

性能分野	耐震性
大分類	耐震性の向上
中分類	靱性型の補強 [梁の補強]
技術の名称	梁の鋼板巻き立て補強
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梁の周囲に鋼板を貼り付け、鋼板と既存梁の間にモルタルを充填することにより、梁の靱性能を向上させる工法。 ・ 耐震壁の境界梁が短スパン梁となっている場合に梁の靱性能を向上させることを目的として実施することが多い。 ・ 梁の変形性能を向上させるために、梁の四周面を補強し、既存躯体を拘束することが必要である。 ・ 梁下寸法や採光条件に支障が無いか検討が必要である。 ・ 雨掛りの箇所は定期的に腐食に関する調査が必要である。  <p>手順：</p> <pre> graph TD A[既存仕上げ撤去] --> B[躯体表面目荒し] B --> C[スラブ貫通孔設置] C --> D[ひび割れ補修] D --> E[補強鋼板建込み] E --> F[モルタル圧入] F --> G[仕上げ] </pre> <p>*1 *1：既存躯体に構造ひび割れがある場合、樹脂注入工法によりひび割れを補修する</p> <p>耐震改修に利用される工法と適用される部位は建物の現状を踏まえて耐震改修を設計する中で決められる。</p>

